

(概要版)

将来への見通しをもって生活できる生徒の育成 を目指した総合的な学習の時間の指導の工夫 働く人々の思いを取り入れた将来マップの作成を通して

長期研修 研修員 松原 裕

今、何が課題か？

職場見学学習が単なる調べ学習になっている
職場見学学習が毎日の生活や将来つながらない
仕事に就きたいという内面的指導は不十分であった

そこで、次のような手だてを考え、

働く人々と直接触れ合う活動

働く人々の生き方や仕事に対する思いや願いを話し合う活動

自分を見つめ、将来について考える活動



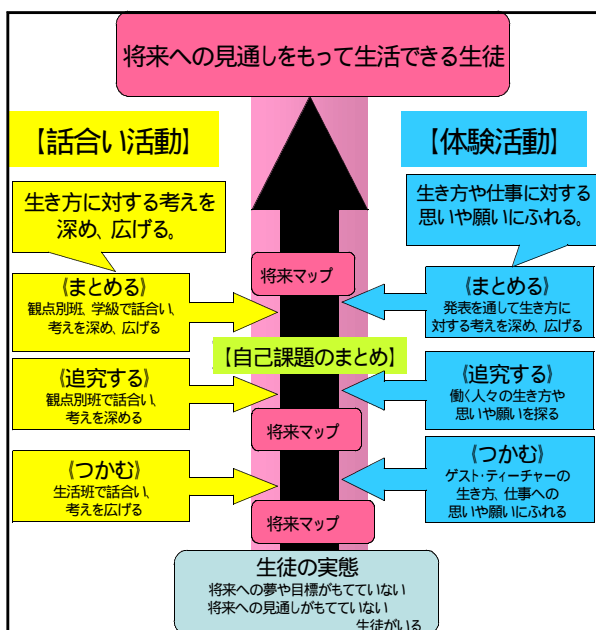
働く人々の仕事に対する思いや願いを感じてほしい。

「生き方探究」を設定しました。

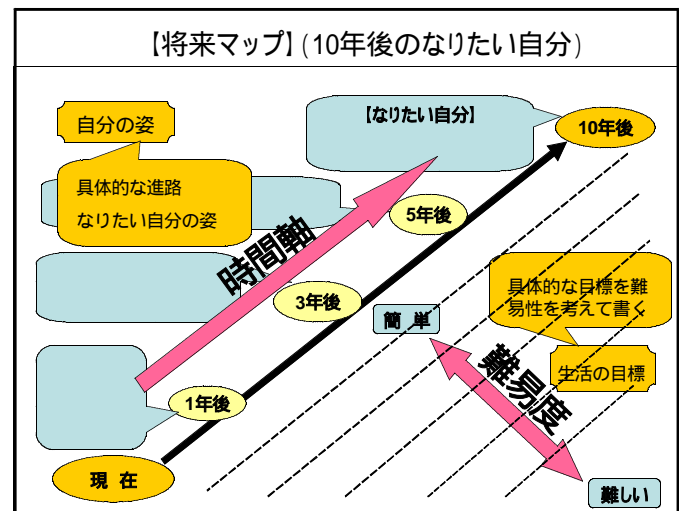
将来の夢や目標に向けての進路を明確にし、今の自分を見つめ、夢や目標を実現させるための具体的な努力点を見だし、努力しようとする意欲をもたせたい。

働く人々の思いを取り入れた「将来マップ」を考案し、活用しよう

研究構想図



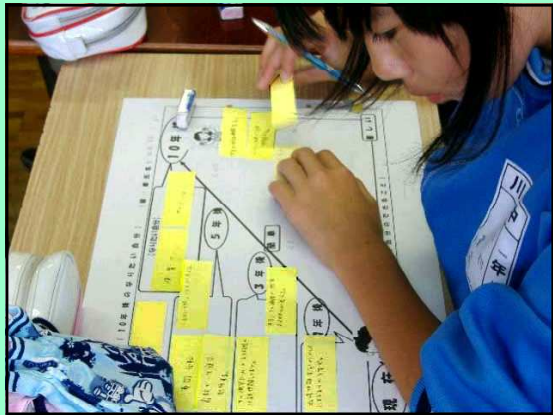
将来マップ



将来に向けての進路と具体的な努力点を1枚のマップに表す

【 つかむ過程 】

1 将来マップの作成



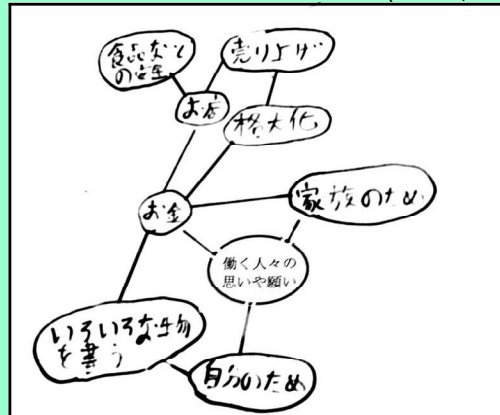
[将来への意識を高める]
10年後の夢や目標に向けて1、3、5年後のなりたい自分の姿を考えた
目標とする自分の姿を具体的努力点として考えた

2 ゲスト・ティーチャーの生き方に触れる



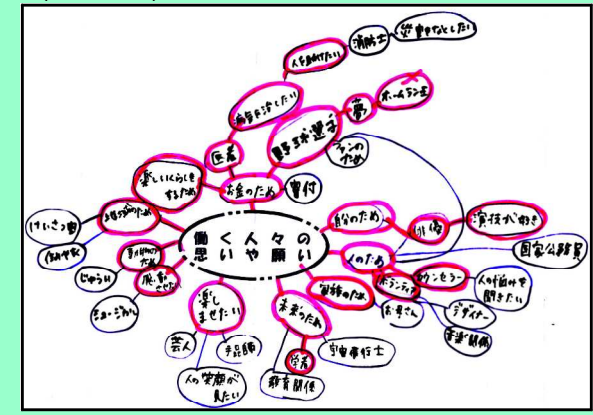
[生き方や仕事に対する思いや願いに気付く]
生徒の感想
「失敗したときに立ち直ると言うことが心に残りました。将来失敗したときに立ち直ることができるといいなあと思いました。」
「お客さんのために働いていることが分かった」

3 イメージマップの作成(個人)



ゲスト・ティーチャーの話をもとに働く人々の思いや願いをイメージマップに表した

(生活班)



[職業の観点に気付く]
友だちと一緒に作成したら、イメージマップが広がった
生徒の感想
「一人では思いつかなかったことがたくさんあった。働く人はいろいろな思いでやっているんだなあと思った。」
「職業には、いろんな思いがあるのだなあと思った。」

【 追究する過程 】

1 仕事調べ



[進路情報の取得]
希望する職業や見学する事業所の仕事の内容を調べた。また、その仕事に就くための資格や試験があるかなども調べた

2 将来マップの作成



[進路への具体的見通し]
仕事調べを参考にして「将来マップ」に追加、修正をした。「自分の姿」の欄に具体的な進路を書き加え、将来への見通しを立てた

3 職場見学



[働く人々の思いや願いに触れる]
働く人々に直接話を聴いたり、働く人々の姿や事業所の様子を見学したりして、働く人々の仕事に対する思いや願い、生きがいや誇りなどを感じ取った

【 まとめる過程 】

1 自己課題のまとめ

思いや願い
・1人1人の気持ちに寄り添ってあげたい。

苦労
・子どもと接するだけでなく、他のいろいろな仕事、体力を大事にすること。

喜び
・子供が成長を信じ、たよってきたとき、何かが子供で子供の一生懸命な姿を見たとき。

接し方の工夫
・1人1人の性格に合うように接してあげる。
・悪い事やケガをしたらきちんとしめる。
・何かを作るときに手伝ってあげる。

感想
自己課題についての答えが見つかった。子どもと接する事以外の仕事が大変なんだと分かった。悪いことしたら叱ることが大切だと思った。

保育園のおやつの様子
のすなっぴ

笑顔の園児の様子
のすなっぴ

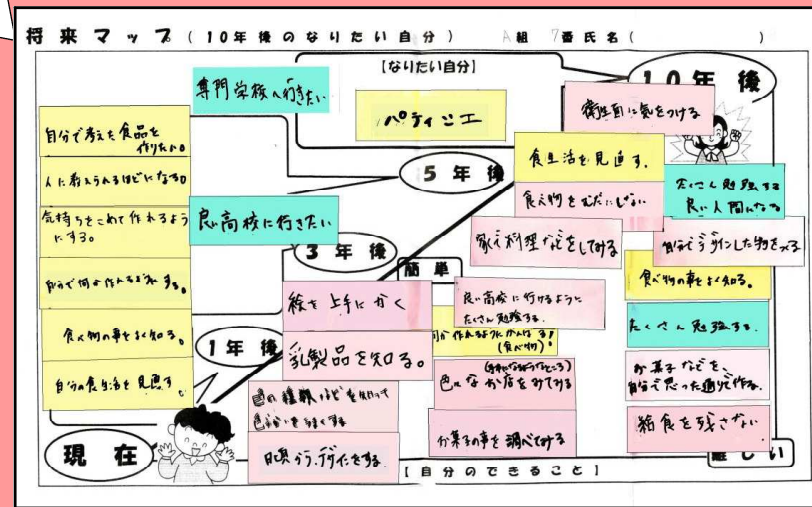
[自己課題を解決]
職場見学で知ったことや働く人の話や様子から感じたことをA3用紙1枚にまとめた

2 自己課題の発表(観点別班)



[仕事に対する思いについての考えを深める]
自己課題のまとめを発表し合った

3 将来マップの作成



[将来への見通しをもつ]
働く人々と触れ合うことで感じたことを基にして、自分を見つめ直し、将来に向けての具体的な努力点を見だし、将来への見通しをもつことができる

パティシエを希望している生徒の将来マップ
生活の目標の欄に食生活、絵、デザインのことを具体的に書かれている

学習指導計画

単元名：「生き方探究」（全16時間）

	学習内容	自己学習	生活班	観点別班
つかむ	1.「将来マップ」を作成し、将来の自分の姿をイメージする。 (将来への意識を高める)	将来を 考える		
	2.ゲスト・ティーチャーの話から生き方や仕事に対する思いや 願いを感じる。(生き方や仕事に対する思いや願いに気付く)	働く人の 思いを知る		
	3.「働く人々の思いや願い」をイメージマップに表すことで仕 事に対する考えを広げる。 (職業の観点到に気付く)		仕事への考え を広げる	
	4.働く人々の仕事に対する思いや願いに自己課題を設定する。 (自己課題の設定)	自己課題 の設定	情報共有	
追究する	5.仕事の内容を調べ必要な資格や試験を調べる。 (進路情報を取得する)	情報収集		
	6.自己課題の見直し、「将来マップ」の作成をする。 (仕事に対する考えを深める。進路への具体的な見通しをもつ)	進路への 見通しをもつ		仕事への 考えを深める
	7.職場見学の準備をする。 (マナーの習得と自己課題の確認をする)	マナー習得		自己課題 の確認
	8.9.10 職場見学で働く人々の思いや願いを感じる。 (働く人々の思いや願いに触れる)	働く人の 思いを感じる		
まとめ	11.自己課題のまとめをすることで課題を解決する。 (自己課題を解決する)	自己課題 の解決		
	12.自己課題のまとめの発表をする。 (仕事に対する思いについての考えを深める)			仕事への考え を深める
	13.観点別班のまとめをすることで仕事に対する思いや願いを 整理する。(仕事に対する思いについての考えを整理する)			仕事への考え を整理
	14.観点別班の発表を通して、仕事に対する考えを深め、広げ る。 (仕事に対する考えを深め、広げる)	考えを 深め、広げる		
	15.「将来マップ」を完成させることで、将来への生活に見 通しをもつ。 (将来への見通しをもつ)	将来への 見通しをもつ		
	16.将来について話し合い、これからの生活に向けて意欲付けを 行う。 (これからの生活に生かす)	目標設定、決意		

自分を見つめ、生き方、思いや願いについて考える活動

職業観・勤労観を広げるための話し合い活動

観点ごとの班で話し合い、働く人々の思いを深め、広げる。

研究の成果と課題



【成果】

働く人々の生き方や仕事に対する思いや願いを探る学習を取り入れたことで、生徒は働く人々の内面に目を向けられるようになった。
 生徒に自分の希望する職業に就きたいという気持ちをもたせることができた。
 将来マップの作成をすることで将来の夢や目標を意識し、仕事調べを通して進路の見通しをもつことができた。
 働く人々の仕事に対する思いや願いを感じたことで自分に必要な資質や能力に気付き、将来に向けてのめあてをもつことができた。
 話し合い活動に2種類の班編制を取り入れたことで、身の回りの職業の情報が広がったり、働く人々の思いや願いについての考えが深まったりした。

【課題】

働く人々の思いや願いを効果的に学習に生かすためには集中して短期的に行うなど指導計画の工夫が必要である。